

(耐衝撃型スプリンクラーヘッド被水防止対策)

被水防止板N用シーリングプレート

被水防止板N

取扱い説明書

ご使用の前に必ずお読み下さい。

このたびは弊社耐衝撃型スプリンクラーヘッド用被水防止板Nをご採用下さいます、誠にありがとうございます。

この取扱い説明書は、耐衝撃型スプリンクラーヘッド用被水防止板N（以下、被水防止板Nともいいます）を正確かつ安全にご使用頂くための製品の取扱い方と注意事項などにつき説明いたしております。

本取扱い説明書は、梱包毎に1部ずつ入れております。

被水防止板Nをご使用頂く前に本書全部をよくお読み下さいます、ご理解の後、ご使用下さいますよう、お願い申し上げます。

この取扱い説明書は設置後の維持管理にも必要です。本書はいつでも見られる場所に大切に保管しておいて下さい。

尚、被水防止板Nは消防法の適用下にあります。構造、性能はもちろん、設置対象物、設置条件、施工、取扱い及び保守管理についてもその適用を受けます。

(施工業者様へ)

ご施主様の方へは本書の内容をよくご説明頂きまして、お渡し下さいますようお願いいたします。

注意 

安全のために注意事項をまもらないと人身事故、水損事故、消火不能事故になることがあります。



AIESU® SPRINKLER CORPORATION
アイエスアソクワ 株式会社

〒648-0003 和歌山県橋本市隅田町山内1691番地の5

TEL 0736-37-5835 FAX 0736-37-5836

e-mail : info@aiesu-sp.com

被水防止板Nの取付け方法について

1. 被水防止板N用シーリングプレートの裏側加工

- 被水防止板N用シーリングプレートの裏側より被水防止板Nを取付ける位置の薄い口型のカベに沿って、カッター等で本図の上側から下側に向けて縦2本①②の切込みを入れます。

(図A参照)

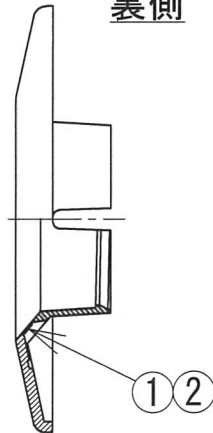
図A

注意 !

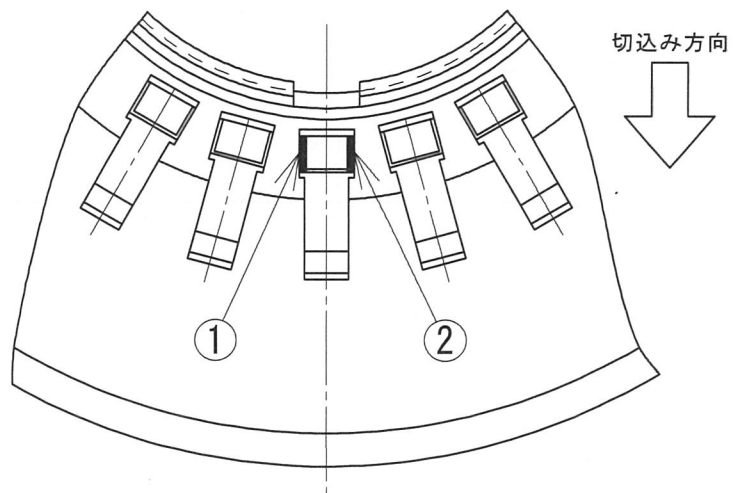
切込みを入れる際、安全に配慮して下さい。

表側

裏側



裏側より見た図



2. 被水防止板N用シーリングプレートの表側加工

1. の加工後、裏側より横1本③の切込みを入れます。

(切込み①②と繋げます)

(図B参照)

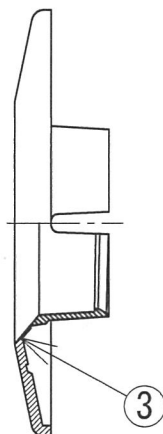
図B

注意 !

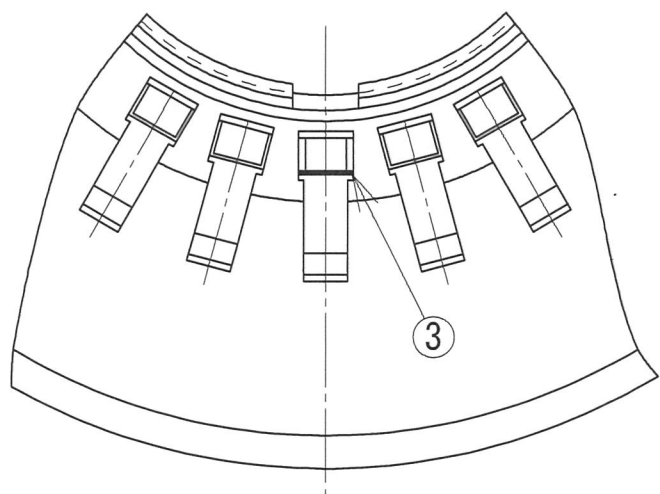
切込みを入れる際、安全に配慮して下さい。

表側

裏側



裏側より見た図



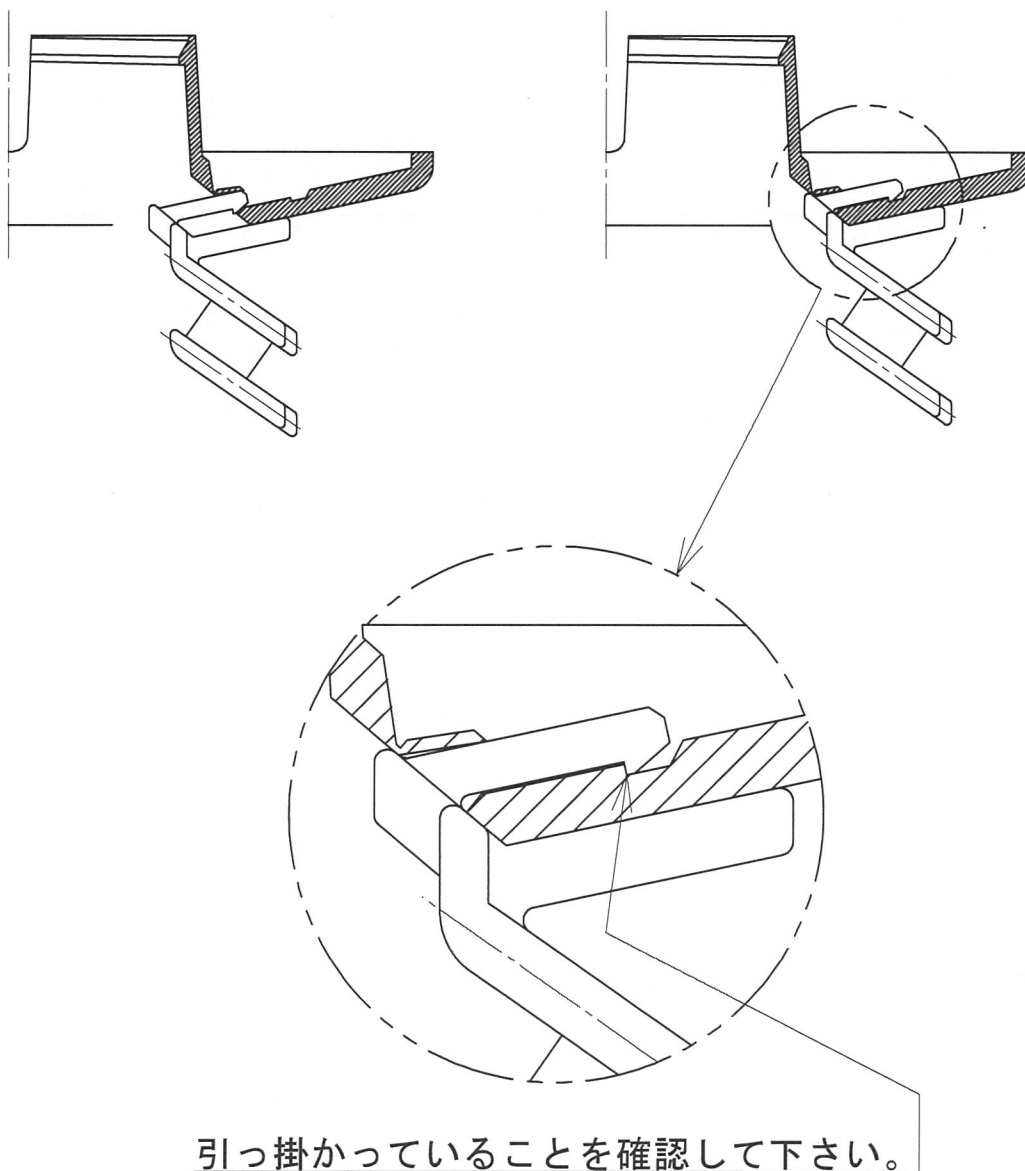
被水防止板Nの取付け方法について

3. 被水防止板Nの取付け

- ・ 1. 2. で切込みを入れた場所に被水防止板Nで切込み部を押し倒しながら（図C参照）奥まで確実に挿入します。（図D参照）

図 C

図 D



被水防止板 N の配置・設置について

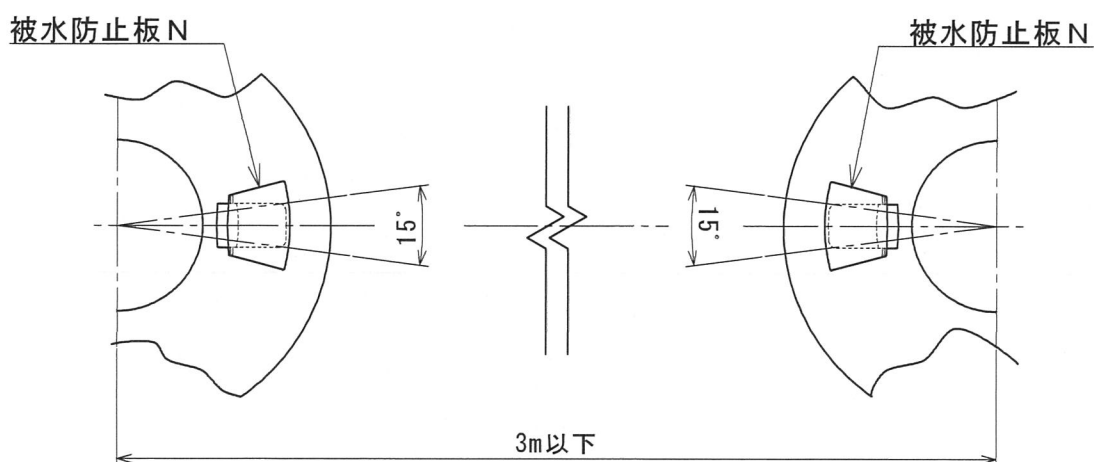
4. 被水防止板 N の効果範囲

- ・ 被水防止板 N の効果範囲は約 15° です。

取付けの際、隣接スプリンクラーヘッドとの被水防止板 N の対向角度は相互に約 15° 以内でご使用下さい。

(図 E 参照)

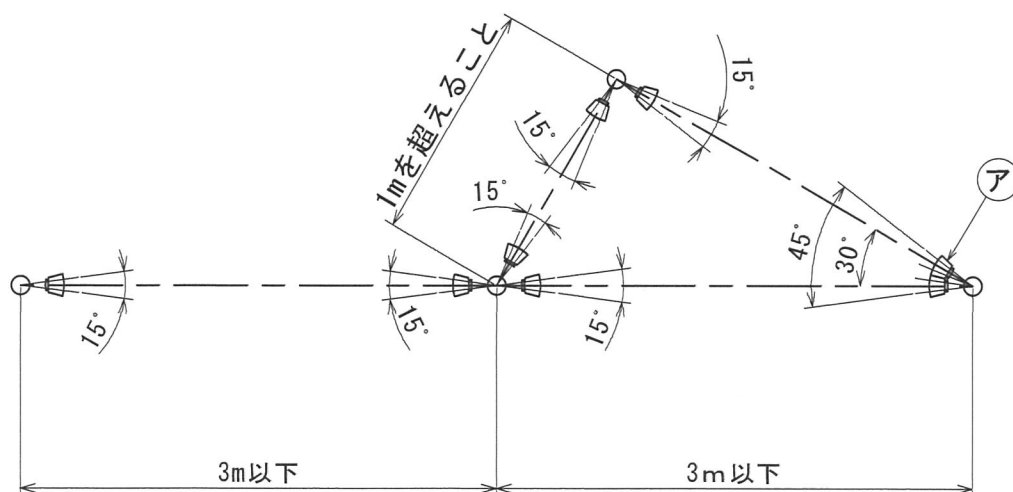
図 E



- ・ 隣接するスプリンクラーヘッドが複数ある場合はそれぞれが 15° 以内となるように被水防止板 N を配置してください(図 F 参照)

取付け穴は、 15° ピッチで配置していますが 2 個連続して取付けると 30° 配置となります。その場合には 45° の効果範囲となります(ア)

図 F



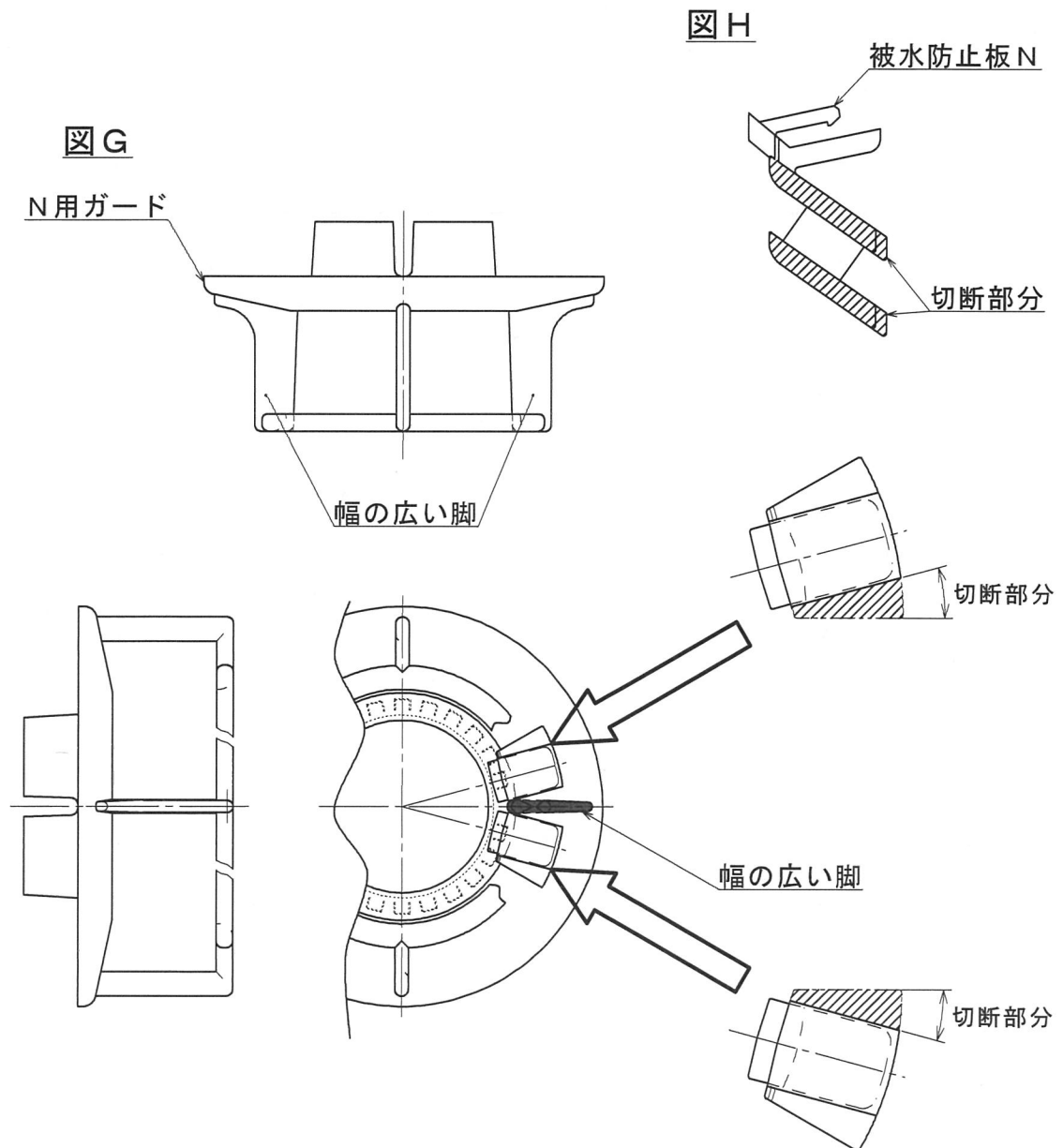
- ・ 被水防止板 N を取付けたスプリンクラーヘッドの場合でも最小離間距離が 1m 以下とならないようにして下さい。

被水防止板Nの取付け方法について（N用ガード）

5. N用ガードに被水防止板Nの取付け

- ・基本的に「3. 被水防止板Nの取付け」と同方法にて取付けることができます。

但し、幅の広い脚2か所（図G参照）の直近に取付ける必要がある場合にのみ図Hの方法にて被水防止板Nの片方の羽を上下2枚切断しご使用下さい。



被水防止板N取付角度とヘッド配置角度の関係

被水防止板N 取付角度	隣接するヘッドの 配置角度
30°	～ 37.5°
45°	37.5° ～ 52.5°
60°	52.5° ～ 67.5°
75°	67.5° ～ 82.5°
90°	82.5° ～ 97.5°
105°	97.5° ～ 112.5°
120°	112.5° ～ 127.5°
135°	127.5° ～ 142.5°
150°	142.5° ～ 157.5°
165°	157.5° ～ 172.5°
180°	172.5° ～ 187.5°

